



岡大文学部は本格的。

“Si el órgano de la guerra es, en apariencia, el ejército,
el órgano de la paz es, sin disputa, la Universidad.”
(José Ortega y Gasset)

人間・社会・自然について、
世界には答えのわからない謎や問題が充ち満ちています。

大学とは、言ってみれば、そうした謎を解明し、
問題を解決すべく結集した専門家集団です。

だから大学は、実はただの学校ではありません。
もう答えが分かっていることを勉強する場所ではなく、
まだ答えの分からないものを研究する場所です。

大学に入る皆さんは、
今まさに新しい知識が生み出される現場に来るのです。

世界の謎に取り組むのに、
決まり切った教科書もなければ、
丸暗記すべき模範解答もありません。
だれも答えを知らない謎を自分自身で解き明かす、
その実践的な能力を、ぜひ大学という現場で身につけてください。



学 章

岡山大学 文学部

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号

お問合せ窓口： 岡山大学文学部
Tel.086-251-7345 (代) Fax.086-251-7350

編 集： 岡山大学文学部広報・交流委員会

http://www.okayama-u.ac.jp/user/le/index_le.html

岡山大学文学部

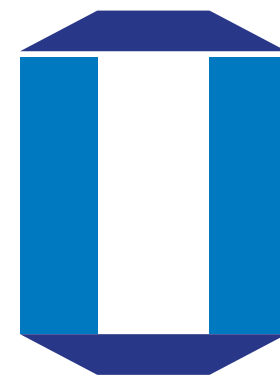
検索

岡山大学

文学部

OKAYAMA UNIVERSITY
FACULTY OF LETTERS

- 哲学・倫理学分野
- 芸術学・美術史分野
- 地理学・社会学・文化人類学・社会文化学分野
- 心理学・社会心理学分野
- 歴史学・考古学分野
- 言語学・現代日本語学分野
- 日本語・日本文学分野
- 外国語・外国文学分野



OKAYAMA UNIV.

世界への扉を開く

岡山大学文学部が、 平成28年度から変わります。

哲学芸術学専修コース

行動科学専修コース

歴史文化学専修コース

言語科学専修コース

言語文化学専修コース

● 哲学・倫理学分野

● 芸術学・美術史分野

● 地理学・社会学・文化人類学・社会文化学分野

● 心理学・社会心理学分野

● 歴史学・考古学分野

● 言語学・現代日本語学分野

● 日本語・日本文学分野

● 外国語・外国文学分野

2016年度 学部案内

「文」のつく語を思い浮かべてみてください。

文字からはじまって、文書、文芸、文化、はては文明まで……「文」とは、ことばの力によって創造された「人間の知恵」そのもののことです。

「文」の学部たる文学部とは、ことばを獲得した人類が生み出したすべて——思想・芸術・文化・社会・心理・歴史・言語・文学——を総合的に探究する場所にほかなりません。

岡山大学文学部は、これまで長きにわたり、そうした「文」についての高度な知を培ってきました。それをさらに深化させ、平成28年度から新しい教育課程がはじまります。

これまでの5つの専修コースに代わり、新たに8つの教育分野が開設されます。そこから1つを自分の専門に選び、4年間かけて卒業論文を作成します。



分野紹介

Philosophy and Ethics 哲学・倫理学分野

古代ギリシアから近現代にいたる哲学、キリスト教思想や日本の思想、また東西の死生観から今日の生命倫理まで、多様な視点から知を探求します。

Aesthetics and History of Art 芸術学・美術史分野

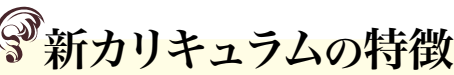
芸術の奥底にある思想を掘り起こす美学、創造を支える文化構造を解明する芸術学、作品のたどった歴史を追いかける西洋・日本の美術史などにより、人類文明の生んだ美術・音楽・舞台・映像・建築・庭園・祝祭・遊戯を調査・分析します。

Geography, Sociology, Anthropology and Socio-Cultural Studies 地理学・社会学・文化人類学・社会文化学分野

地域・場所と人間行動との関係を捉える地理学、人びとの関係性や社会の成り立ち・しくみを明らかにする社会学、地球上のさまざまな文化・社会を比較する文化人類学、他者・他民族の社会的イメージを形成する映像やメディアについて考察する社会文化学など、フィールド調査を中心にした手法で社会の姿を解明します。

Psychology and Social Psychology 心理学・社会心理学分野

心理学領域では実験や調査を通して、人間が自分を取り巻く環境をどのように認知し、何をどのように学習、思考し、働きかけ、新しいものを創造していくのかについて探求します。また、社会心理学領域では、対人関係や集団生活にどう自己を適応させていくのか、人格や態度・行動の形成に文化や社会はどう関わるのかを探究します。



新カリキュラムの特徴

アカデミック・アドバイザーと相談しつつ、どのような知識・能力を身につけて卒業するかを自分でデザインできるのが、新しいカリキュラムの大きな特徴です。関心のある分野をとことん深めることも、興味のある複数の分野にまたがって学ぶことも、みなさん次第です。分野を超えて開設されるテーマ型の科目群〈クラスター〉や、実践的な語学習得・資格取得をめざす〈プログラム〉を並行して履修することも可能です。

1年次には、全学の教養教育科目に加え、人文学のエッセンスを知る専門教育科目「人文学入門演習」「人文学の論点」を履修します。2年次からは、各分野の「人文学概説」「人文学講義」で研究の基礎と最先端を学び、「実践演習」で実践的な調査・分析・考察のスキルを身につけます。3年次になれば、「課題演習」で、一人一人が自分でテーマを選んで本格的な卒業研究を開始し、4年次のおわりに卒業論文を仕上げます。

History and Archaeology 歴史学・考古学分野

過去の文献史料を読解することで日本、アジアやアメリカ・ヨーロッパなどの歴史、その歴史を形成した過去の人々の営みを再構成し、また遺跡の発掘や出土品の分析によって過去の社会や文化を明らかにします。

Linguistics 言語学・現代日本語学分野

現代の日本語、アジアの諸言語、欧米の諸言語など、世界のさまざまな言語を対象として、言語の音声、構造、変化、多様性と普遍性、社会や文化との関係について、フィールドワークやパソコン等の機器による分析を含む科学的な方法で考察し、言語の本質の理解をめざします。

Japanese Language and Literature 日本語・日本文学分野

古代から現代にいたる日本文学の蓄積に分け入り、日本語の変遷を辿り直すことで、日本語によって築き上げられた作品や文化を深く理解します。日本語の構造と歴史的展開を深く理解することもできます。

Chinese, English, French, and German Linguistics and Literatures 外国語・外国文学分野

文学をはじめ演劇・映画・歌など、中国語・英語・フランス語・ドイツ語の各言語圏でことばの力によって生みだされた作品や文化を深く理解します。また、中国語、英語、フランス語については言葉を学ぶだけでなく、これらの言語と日本語との比較などの言語学的な考察を通して言葉の本質に迫っていきます。

人文学を知る → 始める → 広げる → 深める

1年次	2年次	3年次	4年次
人文学の論点	人文学概説	人文学講義	
人文学入門演習	実践演習	課題演習	
外国語習得・留学プログラム／学芸員課程プログラム（2年次～）			
教養教育			

取得可能免許・資格など	
免許	中学校教諭一種免許状 —社会、国語、英語、フランス語
	高等学校教諭一種免許状 —地理歴史、公民、国語、英語、フランス語
資格	学芸員 地域調査士 社会調査士 認定心理士